

**緑丘中学校区における
「市長と語る会」発言に対する対応方針**

〔開催概要〕

日時:令和5年11月21日(火)18:05~19:00

場所:西伊敷福祉館 洋室

令和6年2月

鹿児島市 市民協働課

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	岡之原地域振興会	<p>春山地域の本通り、郡山から宮之城に抜ける道を利用する車が多く、朝の通学・通勤の時間帯である7時から8時までの間に、上り千台、下り千台の車が通っている。当該道路は、道幅が狭くカーブも多く、車もスピードを出して危険な状態である。また、通学路であり、ランドセルを引っかけたりという事故もあった非常に危険な場所であるため、拡幅していただきたい。</p> <p>確かに年間70～80メートルぐらいのペースで拡幅を進めてきているが、今のところ400メートルぐらいしか拡幅されていない。このペースでいくと、40～50年、或いはそれ以上かかるのではないかと。</p> <p>また、道が狭いため大型バスなどは樹木の枝が当たらないように、道路の中央を走ったりする。それが原因で車同士の事故が起ったり、通学路であることから、藪が生い茂っていると、子供が道路の真ん中に出て、車からの事故にあうという危険な状態である。何とかピッチを上げて、早く拡幅を成し遂げていただきたい。</p> <p>今までに担当部署にお願いしたことがあるが、「予算がない」とか「順次進めていくためもう少し待ってほしい」と言われており、50年経っても完了しないのではないかと思う。</p> <p>我々としても、住みよい場所にしたいと考えており、藪については、有志で高所作業車を借りて伐採しているが、4～5年経てば元の状態に戻るため、抜本的な道路の拡幅をやってもらわないといけない。また、併せて白線の引き方についても、解決していただきたい。</p>	<p>まずは藪の伐開など日頃から快適な環境づくりにご協力いただき、心より御礼を申し上げます。</p> <p>おそらく市道川上丸岡線のことかと思うが、ここについては、主要な地域を結ぶ幹線道路として、4年から8年における5年計画に位置付けており、整備を順次行っている。</p> <p>ピッチを上げたいと思うが、予算との絡みがあるため何とか予算を確保できるように国等への働きかけをしっかりとやってみようと考えている。</p> <p>また、通学路の安全確保は非常に重要なことであり、樹木がせり出しているようなところについては、土地の所有者に木を刈っていただく必要があるので、危険な場所がある場合には、担当課にお話ししていただき、担当課から所有者に対して伐開の依頼を行う形で、児童生徒の通学の安全を確保していきたいと思う。また、他にも路面標示の設置などできることがあると思うので、通学上危険性の高い場所がある場合には、ぜひ担当課に教えていただき、一緒に安全確保について考えていきたいと思う。</p>	建設局 教育委員会	<p>【建設局】 お尋ねの市道川上丸岡線については、主要な地域間を結ぶ幹線道路として幹線道路整備計画に位置付けており、幅員が狭く十分な視距が確保されていない区間については、拡幅等の整備を順次行っているところである。今後も引き続き、拡幅整備と併せて、歩道整備等に取り組んでいく。</p> <p>また、消失している白線については、順次、引き直しを行う。</p> <p>【教育委員会】 教育委員会では、通学路の安全対策として毎年、各学校から寄せられた危険箇所をとりまとめ、学校、教育委員会、道路管理者、警察等を含めて合同点検を実施している。また、地域住民等から寄せられた通学路の危険箇所については、合同点検希望箇所に加えるよう各小学校に指導している。</p> <p>今後とも、児童生徒の交通安全指導の徹底を行うとともに、通学路の安全確保に向けた関係機関との連携を強化してまいりたい。</p>
2	上町会	<p>上町会は、建設・建築、産廃、運送を主とする20社で構成しているが、仕事の発注量が減少してきて、なかなか受注ができていないというのが現状である。そうすると、事業をやめないといけないとか、若い世代が入ってこないということになり、高齢化が間違いなく進んでいる。その結果、いざ災害出動の依頼を受けても出て来れる人がいないということになる。</p> <p>例えば、雪が降る時期に鹿児島市から来る融雪剤の散布の依頼を上町会では断る業者はいないと思うが、それ以外の業者であったり、1人で運営している業者は、手が回らず、断っているようである。</p> <p>そうすると、我々にその分が回ってきて、これまでの1.5倍、2倍というような融雪剤の散布とか、除雪作業が回ってきているのが実情である。</p> <p>もちろんこの地区だけではないが、高台にある地区では雪に関して同じようなことが起こる。また、豪雨災害で河川が氾濫したときにも災害復旧で同じような状況となる。</p>	<p>公共事業の量の確保が非常に重要であると考えている。また、発注時期の平準化にも取り組んでいるところであり、補正での対応であったり、予算を翌年度に繰り越すなどして上半期にしっかりと事業を実施するなど、これからも取り組んでいきたいと考えている。</p>	企画財政局 建設局	<p>【企画財政局】 市長回答のとおり。</p> <p>【建設局】 市長回答のとおり。</p> <p>施工時期の平準化による年間を通した工事量の安定が、建設業における企業経営の健全化や労働者の処遇改善等に資することから、補正予算において債務負担行為（ゼロ債務負担行為を含む）を活用する等して、今後とも切れ目のない工事発注に努めてまいりたい。</p>

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	上町会	<p>区画整理が済んだ吉野地区のダイレックスから川上小の方に降りてくる緑丘中校区と吉野中校区の境目あたりに道路がある。この道路は、カーブの1ヶ所だけに少し歩道があるが、それから後は全く歩道がない状況である。</p> <p>ここは、中学生もそうだが、小学生が多く歩いており、交通量が多く、乗用車もすごい勢いで行き来をしてる。そのため、歩道が必要であると考えている。</p> <p>それから、川上小に突き当たり、右にずっと行くと、県道を越えて緑丘の方に抜ける改良中の急な坂道がある。そこも、以前は離合すらできないようなところだったが、50%ぐらいは離合ができるようになってきている。残りの部分についても、早期の発注をお願いしたい。</p>	<p>特に通学路の安全確保は、重要な課題である。通学路に関しては、学校ごとのスクールゾーン委員会等から箇所を挙げていただくことになる。また、歩道設置については、道路の拡幅を伴うため、町内会でも地域の意見を集約していただくことになるが、これには用地取得等々が絡んでくる。</p> <p>地権者の要望書であったり、地権者の同意があった場合には、整備に向けた検討を行っていくので、その際にご協力をお願いしたい。</p>	建設局 教育委員会	<p>【建設局】 歩道設置は道路の拡幅を伴うため、用地取得等の問題もあり、地元町内会において地域の意見を集約し、要望書及び地権者の同意書が提出された際は、整備に向けた検討を行っていく。</p> <p>また、川上小学校から緑丘方面に向かう路線である市道川上上通線については、引き続き、拡幅整備に取り組んでいく。</p> <p>【教育委員会】 市長回答のとおり。 引き続き、児童生徒の交通安全指導の徹底を行うとともに、通学路の安全確保に向けた関係機関との連携を強化してまいりたい。</p>
4	上町会	<p>土砂崩壊や水没などの災害が起きると、復旧の際に産業廃棄物が出てくる。危機管理課で置き場を決めていると思うが、聞かされたことがない。我々にも災害があったときにはどのようにして、どこに持っていったんかということも教えてもらえればと思う。</p> <p>今は産業廃棄物の処理についても相当厳しくなっている。産業廃棄物は、水に浸かることで有害物が出たりということが考えられる。8・6水害の時には、ただそこに集めればいいという形で持って行ったが、今は、熊本の水害の例をとると、有害物が出るところには鉄板を先に敷いて、水が漏れないように処置をしているようである。地盤を全部改良するのを覚悟して、そのまま置くといったやり方もあるだろうが、その際は場所の選定というのが非常に大事になってくる。</p> <p>そこで、先に場所の選定をしていただいて、専門の業者と打ち合わせをしてもらい、災害の時に初動対応が迅速にできるようにしていただければと思う。我々も一生懸命協力していきたいと思う。</p>	<p>災害時の廃棄物の置き場、仮置き場については、おっしゃる通りだと思うので、担当課から置き場が決まっているのであれば何処という話を、また、今後検討していくのであれば、それこそプロである皆さんとしっかりと話をしながら、こういった場合はここが良い、こういった場合は鉄板も必要だということを、ぜひ協議をさせていただきたいと思っている。</p>	危機管理局 環境局	<p>【危機管理局】 災害時の廃棄物については、環境局が担当部局となっている。</p> <p>【環境局】 本市では鹿児島市災害廃棄物処理計画を策定し、災害廃棄物の仮置場については被災状況に応じて、最適な場所に迅速に開設できるよう幅広く候補地を選定し、リスト化しており、市のホームページ上で公表している。</p> <p>また、仮置場としては、公園などのアスファルトの駐車場等を優先して選定するよう想定している。</p>

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	西伊敷まちづくり協議会	<p>ここ最近鹿児島市内をみると、中心市街地の発展が目まぐるしいものがあり、ライカ、センテラス、鹿児島駅周辺等あちこちで活性化して、発展する理由もテナント料が入ったり、マンションができてきたりなど、いろいろあると思う。20年ぐらい前に市町村合併で1市5町が一つになったことから、個々の特色にあった発展ができればと考えている。6年前から伊敷団地と西郷団地と皇徳寺団地において団地再生的な取組が行われている。我々も非常に期待を持っていたが、その会議が行政の方からの一方通行の会議だった。その後コロナの影響もあり、頓挫したような状況になった。地域を一番知っているのはそれぞれの住民で、地域の事情や問題、武器など分かっている。一方通行ではなく、ディスカッションしながら、まちづくりができればと考えている。</p> <p>地域の活性化というものは、国がやるもの、地方自治体がやるもの、あと地域住民が自助グループでやるものがあり、そこも一切整理されない中で、話が一方通行になって行政主導になった。相互の形でもう1回仕切り直しした方がいいのではないかと考えている。</p> <p>以前「青天を衝け」という大河ドラマがあり、そこで渋沢栄一は500以上の企業と、逆に公共事業も500ぐらいたてている。いろいろ調べると、公共事業はビジネスになっているんだとつくづく痛感した。そういったビジネス的な部分で公共事業を考えていけば、それがまた活性化或いはビジネスにも繋がってくるのではと思うところがある。</p> <p>中心市街地と同じ方向性ではできないと思うが、身近な支所でコーディネーターとも連携をとりながら、それぞれの個々の地域にあった形でワークショップ的なものをもう1回しきり直してやっていければと考えている。</p> <p>そこで、今後の地域の活動をどのように展開していくのか伺いたい。</p>	<p>まずは、団地活性化のモデル作成に手を挙げていただいたことに感謝申し上げたい。特に意欲的な皆様の手を挙げていただいたと認識をしている。</p> <p>団地の活性化は、鹿児島市の重要テーマである。団地の特徴は、みんなが一緒に年をとるというもので、若い人をどう取り込んでいくのか、住みかえていくのが非常に重要だと思っている。これを私が大きな課題だと感じたきっかけは、数年前に緑ヶ丘で国家公務員住宅が撤退したときに、買い物難民が発生し、地元の方々が頑張って移動販売車の取組を始めたことである。その時に地元の方々はずごいなと思うと同時に、これから同じ問題が市内各地で出てくるのも時間の問題であると危機感を持った覚えがある。</p> <p>その中で、この新たな団地活性化のプランづくりについては、双方向でやっていかないといけないと思っている。ぜひいただいた意見を踏まえて、検討させていただきたい。</p> <p>そして、もう一つ、この団地活性化に向けて新たな取組として、今年度末に都市計画の見直しを予定しており、その素案で盛り込んであるのが、今まで伊敷団地は第二種低層住居専用地域に属し、二階建ての家程度しか建てられなかったところ、小さい事務所を建築したり、今までよりも大きな店を作れるようにするというものである。団地の中で、居住、仕事をし、そして、買物をしたり、飲食を楽しんだりといった生活を団地の中で完結できるようにする取組を始めようと思っている。</p> <p>そうして、より快適に、そして若い人も入ってくれる団地をつくっていききたいと思っているので、ぜひこの新たな団地活性化に向けて一緒に取り組んでいきたいと思っている。</p>	市民局 建設局	<p>【市民局】 市長回答のとおり。</p> <p>【建設局】 本市では、伊敷・西郷・皇徳寺団地で実施したワークショップや、庁内での施策の検討などを踏まえ、令和3年3月に「かごしま団地みらい創造プラン」を策定した。</p> <p>本プランでは、地域主体のまちづくりを目指し、活性化に向けた取組の方向性（主な取組主体、取組内容、施策）を取りまとめている。</p> <p>現在は、本プランに基づき、これまで意見交換会やワークショップを実施していない団地を対象に支援等を順次行っていることから、伊敷団地における再度のワークショップ開催については、それらの状況を踏まえながら、今後検討してまいります。</p>
6	西伊敷まちづくり協議会	<p>西伊敷の市営住宅を取り壊した跡地や旧いしき園の活用方法を検討していただきたい。</p>	<p>いしき園は築50年を経過しており、がけ地に近いということもあるので、予算の関係もあるが、解体を行い更地化した上で、民間の活用を募っていければと考えている。老朽化しているので、庁内でいろいろ活用を募ったが、手が届かない状況であった。将来的には解体予算が確保できた時点で、更地化並びに活用を公募していきたいと考えている。</p>	健康福祉局 建設局	<p>【健康福祉局】 市長回答のとおり。</p> <p>【建設局】 市営住宅の余剰地については、地域住民の意見等も参考にしながら、利便性の向上を図る活用方法を検討している。</p>

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	西伊敷小学校PTA	<p>通学保護員と通学ボランティアについて、西伊敷の通学ボランティアは子供たちの安全を見守ってくれている。このボランティアの方々の高齢化が進んでいるが、次の候補者が見つからない状況にある。</p> <p>出来れば私たちが変われたら良いが、私たちも生活があって仕事もあり、幼稚園などの用事もあるので、なかなか手が挙がらない状態にある。</p> <p>そこで、通学保護員の増員を認めていただきたい。</p> <p>PTAでも、保護者の方たちができることを考え、いろいろ探していきたいと思う。</p> <p>また、中央公園前のS字カーブや南日本新聞社の近くの道路に段差の設置をお願いしたい。</p>	<p>通学保護員に関しては、今いる方に場所を変えてもらうことができるかどうかという協議になるが、それが難しいという場合には、学校や校区の方から、安心安全課に通学保護員を新しくつけたい旨の申出をいただければと思う。</p> <p>目的は児童の安全確保にあるので、その間にできることがあるかもしれないので、ご相談いただきたい。</p> <p>また、段差のお話があったが、ゾーン30なども対策の一つになると思う。これは、各所管の警察署に話を上げていく形だと思う。</p> <p>このように、いろんな手段があると思うので、まずは安心安全課にご相談いただきたい。</p>	危機管理局 建設局 教育委員会	<p>【危機管理局】 欠員対策としては、随時人材バンク登録の周知を各関係機関等に行っていく。児童通学保護員設置箇所の新設については学校側からの要望等があれば、適切な調査等を実施し新設の必要性の検討を行っていく。</p> <p>【建設局】 道路上の段差（ハンプ）については、ゾーン30の整備地区において設置を検討しているが、警察と協議のうえ、交通事故発生件数の多い地区から優先的に整備しており、現在、西伊敷小学校校区における整備予定はないところである。</p> <p>なお、小学校の通学路については、学校や警察等と通学路の合同点検を行うなど、関係機関と連携を図りながら必要な安全対策を適宜行っており、今後とも関係機関と連携を図りながら、合同点検を実施し、安全確保に努めていく。</p> <p>【教育委員会】 保護者や地域住民を含む通学ボランティアの確保については各学校で実施している。</p> <p>引き続き、児童生徒の安全確保が図られるよう関係機関との連携を強化してまいりたい。</p>
8	西伊敷小学校PTA	<p>エアコン設置について、小学校の体育館も避難所になっている。西伊敷小への道路が一つしかないことから、もし孤立した場合に、エアコンがなく、暑さをしのぐのが厳しい。</p> <p>そこで、エアコン設置をお願いしたい。</p>	<p>体育館のクーラー設置については、予算があれば実施したいところがある。しかし、市内には110ぐらい小・中学校があるため、国の補助制度を見ながら、将来的な課題として認識をさせていただきたい。</p> <p>ただ、熱中症などにはなっていないので、大型の扇風機等で対応させていただいている。</p>	教育委員会	<p>【教育委員会】 屋内運動場の空調設備につきましては、使用頻度や財政上の制約もあることから、設置は難しい状況にあると考えている。なお、学校を避難所として使用する場合の暑さ対策としては、空調設備のある教室等の利用について学校と協議するなど、対応を考えているところである。</p>

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	西伊敷六・七丁目町内会	<p>伊敷団地も造成されてから、50年を経過して、団地自体が老朽化して、高齢化も進んでいる。最近各地で大きな地震や水害があり、火山を抱えている鹿児島ゆえに、地震はいつ起こるか分からないという気がする。</p> <p>伊敷団地の場合は、大きな避難所が福祉館と西伊敷小学校だけであり、もし地震が起きた場合に収容しきれなのか、また、伊敷団地は1丁目から7丁目まで危険地帯が続くため、崩落する可能性があり、災害が起きたときに本当に対応できるのかという疑問がある。</p> <p>そこで、例えば、市営住宅、県営住宅、公務員住宅（国）の空き部屋を避難所として利用させていただくなど、そのような方法も考えて良いのではないかと思う。長期の避難生活を送るとなれば、当該二つの施設ではとても間に合わないと思っており、その辺も考えていただければと思う。</p>	<p>避難所に関しては、屋内避難所と地震時の避難所（退避場所）があり、地震時の避難所（退避場所）は、たくさんの方の避難が予想され、そして建物が崩落する危険性がある中で集まっていたので、広い場所、小学校、中学校等を指定している。</p> <p>避難が長引く場合に備えて、市営住宅は100%入れている訳ではなく、あえて政策的な空き家の一部作っている。そして、避難が長期化する場合には、確保してある市営住宅の空き家に入っただけの流れになる。もちろん、その場合には、同じく県営住宅の方も同様に空き家を政策的に持っていると思うので、協議していくことになると思う。</p>	危機管理局 建設局	<p>【危機管理局】 市長回答のとおり。</p> <p>【建設局】 市長回答のとおり。</p>

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	西伊敷六・七丁目町内会	<p>伊敷団地は、造成から50年経過している。団地を造成した時は良かったが、伊敷支所から上がって緑ヶ丘に抜けるまでは、上下2車線の道路が1本しかない。他に抜け道はあるものの、離合も困難というところが非常に多い。そのため、毎朝、伊敷団地の下り坂で大変な渋滞が起きているので、何とか解消していただきたい。私も40年以上会社員であったが、6時半には家を出るようにしていた。会社自体は、8時半であるが、それぐらい余裕を持って出ないと、会社に間に合わない現状であった。</p> <p>ここ最近では、武岡や原良などから吉野や始良、吉田への抜け道で、伊敷団地を使われているような気がする。やむを得ないことだが、緑ヶ丘の入口であるみどり温泉の付近が大渋滞を起こす。日曜日以外は、その辺を通勤で通られる方が非常に苦勞されていると思う。</p> <p>そこで、何とか抜け道をつくることができず、または拡張できないかと思う。</p> <p>例えば、緑ヶ丘のみどり温泉の手前の右側にコインランドリーがある。そこを右の方に抜ける道をつくることはできないか。またはみどり温泉前の信号機を左折して、緑丘中学校の下の方に抜け道をつくることはできないか。そうすれば大分渋滞が緩和されるのではないかと思う。</p> <p>また、伊敷支所から田入道を抜けて、それから5丁目まで抜けて団地に上がってくる道路があるが、そこは通学路になっている。朝8時半までは通行できない訳だが、違反車両が相当いるように感じる。それだけではなく、道路自体が狭い。</p> <p>そのため、毎年少しずつ拡張工事をしているが、去年あたりから工事をしていないように思う。いつ頃の完成を目標にしているのか。</p> <p>地権者の反対があったりなどというような噂も聞いたりするが、何とかその辺も検討していただければありがたい。</p>	<p>道路の件については、予算の確保が重要である。国の予算組みをやっている時期であることから、予算をしっかりと確保するために、私も先週、先々週は、東京に行ったところである。全国から首長が集まり、引き続きお願いしながら、道路予算の確保に取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>その中で、お触れいただいた長井田線の件については、5年間の道路計画にしっかりと位置付けをしている。止まっているように見えたのは、今年度に関しては、設計や用地交渉などをやっていたため、それらを踏まえて、来年度から実際の工事に移っていく流れとなっている。ご不安を与えてしまったかと思うが、これがまとも次第、実際に見える工事に移っていくということになるので、ご理解いただきたい。</p>	建設局	<p>【建設局】</p> <p>本市の市街地部における道路の混雑割合は、極めて深刻な状況であり、交通渋滞により大きな経済損失を招いていることから、今年度より、渋滞対策を総合的に進めていくため、ハード・ソフトの両面から取り組む施策を掲げる基本計画の策定に向けた基礎調査に着手しているところである。</p> <p>また、国、県、市等で構成する鹿児島県渋滞対策協議会においては、渋滞状況の把握や対策を行っているところであり、今後も引続き、主要渋滞箇所における交差点改良等のピンポイント対策や、時差出勤、公共交通機関の利用促進などのソフト対策などに取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>市道長井田線は、国道3号と伊敷団地を結ぶ重要な幹線道路であり、未整備区間の道路整備については、地域住民のご協力をいただきながら、計画的な整備推進に取り組んでいるところである。</p> <p>令和5年度は、西伊敷五丁目付近の延長約300m区間について、設計委託や関係地権者と用地交渉を行っており、早期工事完成に向けて、今後も引き続き、事業推進が図れるよう努めていく。</p>